

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・全体的に当地域における景気は良くなる。祭り景気もあったが、その他にも非常に明るい見通しを持って我々は商売にかかわっているもので、今後も売上は伸びる。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・政府のアナウンスメントが非常に評判が良いからである。
		観光名所（職員）	・今は夏休みに入り、徐々に客は増えているが、3か月後は秋の観光シーズンが始まる。観光地にとってはトップシーズンになるので、客が増えることを期待している。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・参議院選挙の結果がアベノミクスを後押しするものだったので、おそらくやや良いぐらいの景気は持続すると思う。消費税増税問題はあるが、決まったら決まっただ、実際に上がるまでの数か月は高額なものを中心に駆け込み需要が高まりそうである。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・我々の業種にもやはり多少なりともアベノミクスの恩恵を授かりたいと思っている。どの程度末端にまで到達するか、時間的なことは分からないが、希望的観測としてはやや良くなる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・参議院選挙で現政権が大勝してねじれが解消したので、これから良くなっていく。
		百貨店（広報担当）	・当社店舗における商品販売動向から、消費動向に若干の明るさが感じられる。
		百貨店（販売管理担当）	・消費税率引上げというネガティブな事柄が予定されているものの、宝飾や時計などを中心に高額所得者の購買意欲は継続して堅調に推移していることと、最も客の生活に密着している食料品が前年を上回る実績を残しているためである。
		百貨店（店長）	・ねじれ国会の解消への期待と、秋からの賃金上昇のためである。
		スーパー（ネット宅配担当）	・円安の影響が更に出てくる。製造業の好業績が消費を活発にさせることは間違いない。原材料の値上がりから食品価格が全般に高騰しているが、消費の質の変化をとらえられれば業績は上げられる。
		コンビニ（経営者）	・高付加価値商品への期待はさらに増しているようで、しばらくは現在の上昇基調に変化はない。
		コンビニ（商品開発担当）	・現時点では天候も多少落ち着いているが、8月後半の残暑に期待している。
		家電量販店（営業統括）	・日用品や家電分野では依然として価格に対する厳しい要求があり、デフレ脱却はほど遠い。しかし、外国人観光客の増加、消費税増税前の不動産取得による耐久消費財購入、夏から秋にかけてのレジャー需要増進などにより、しばらくは消費拡大傾向は続く。
		家電量販店（統括）	・消費税増税前の特需に期待する。
		乗用車販売店（経営者）	・急激な伸びは無理だが、来客数と売上が今後も増加する見込みである。
		乗用車販売店（販売担当）	・新車及びトラックの売行きについては、中古車も含め、ある程度上下するが、全体としての購買意欲は高いままで推移している。アベノミクス、株価上昇、現政権の圧勝など、今後の先行きについては明るい見通しがあるようである。
		高級レストラン（支配人）	・10月以降の予約状況は、前年に比べるとやや動きが早い。個人の利用は比較的安定しているため、法人の動きが活発になれば秋以降期待が持てる。
		一般レストラン（経営者）	・今がかなり悪いため、2、3か月先の景気は少し良くなると思う。また、ケータリングの予約もかなり入っているので、今よりは少し良くなることを期待している。
		一般レストラン（経営者）	・参議院選挙で現政権が勝利し、ねじれが解消されて法案成立が進む。また、アベノミクスの景気対策等で少しずつ勢いは出るが、来年4月の消費税増税に向けて秋ごろまで議論されるので、消費が冷え込んだり、駆け込み需要等があったりと良いところと悪いところがあり、まだどうなるか分からない状態である。少しずつ上向いてきてもらわないと困るので期待を込めて少し良くなる。
		旅行代理店（経営者）	・秋の行楽シーズンに向けての問い合わせは大分増えてきているので、できることならそれが全部仕事につながってくればというような状況であり、やや良くなっていく。
		タクシー運転手	・参議院選挙も終わってねじれが解消し、政局も安定の方向に推移し、本格的に景気回復するとみて良くなる。
		タクシー運転手	・建築関係の仕事が上向きという客の話に期待が持てるようである。走っていると建築現場を目にすることが多く、大型車や資材を積んだ車を多く目にする。確かに良くなりつつあるようである。

タクシー（団体役員）	・参議院選挙で与党が大勝したことで、ねじれ国会が解消し、しばらく安定するとともに景気も上向くと期待している。全体的な動きが良い方向になる。
通信会社（経営者）	・政局の安定が消費者心理に良い影響を与える。
通信会社（経営者）	・アベノミクス効果は感じられないが、参議院選挙も現政権が勝利し、長期政権になりそうなので今後に期待したい。
通信会社（社員）	・契約の見込みが立つようになってきた。イベント時の客の反応も良かったため、今後につながっていくと見込んでいる。
通信会社（営業担当）	・大手企業を始め利益が出ているようであり、従業員の所得が増えるようになれば、消費意欲が増加すると感じる。また、連日の景気上向きとのニュースの影響で、消費者は近い将来、景気は良くなると感じている。
通信会社（総務担当）	・参議院選挙も終わり、経済政策が推進されるという希望的観測である。しかし、消費税増税の影響によっては実質的に景気が冷え込むことも考えられる。
ゴルフ場（支配人）	・秋口の予約が順調に推移している。
美容室（経営者）	・アベノミクスの影響ではないかと思う。
その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・ここ数か月同じような回答だが、希望的観測でやや良くなる。
その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・期待も込めて、秋口ぐらいから販売量が少し増加し、顧客単価も上がってくる。
設計事務所（経営者）	・取引先の来客数が増えてきており、これからの計画が出てきているため、当社の受注量が増えることが期待できる。
設計事務所（所長）	・現在、官公庁の仕事は耐震補強に関する業務が中心である。これをきっかけに民間業務が活発になることを期待してやや良くなる。
設計事務所（所長）	・現在動いている物件が成約すれば多少上向くが、それ以降の受注の予定が見込めず、長期展望は考えにくい。
住宅販売会社（経営者）	・やや良くなることを期待しての回答である。円安の影響で自動車産業などの輸出関連企業は良いようだが、我々中小企業はまだ不況の中にある。建設業については、建設費が高騰しているために赤字の仕事が非常に多くなっている。大企業だけではなく、中小企業の景気対策を期待している。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み客による商談が増えているため、その需要が8、9月に見込まれる。受注残が増えているので、9月の上期売上は増加する見込みである。
住宅販売会社（従業員）	・参議院選挙の結果、消費税増税はまず間違いなく実施される見通しとなったことで、改めて増税前の駆け込み需要が発生すると考えられる。
変わらない	
商店街（代表者）	・アベノミクスということで、経済状況を少しでも良くしなければならぬとやっているが、我々中小零細企業にはなかなかその恩恵が至らず、全く関係ないような感じがしている。もし恩恵を感じるようになるとしても、今年の暮れか来年初めになるのではないかな。
商店街（代表者）	・今年は予測がつかないような非常に変わった天候が続いている。とにかく天気が良くて涼しくなれば客の動きが良くなると思うが、今の状態ではなかなか難しい。普通の天候が続いてもらわないと商店街としては大変である。
商店街（代表者）	・水物が非常に売れてくるのではないかなと思うが、やはり天気次第で左右されるのではないかな。
商店街（代表者）	・抜本的な構造の変化には期待できない。
一般小売店〔家電〕（経理担当）	・家電を買う客は二極化しているように思う。以前の消費税増税前は駆け込み需要があったが、今回は全くみられない。
一般小売店〔家具〕（経営者）	・アベノミクスで株価等が上がってきた時には良くなると思っていたが、ここへきてしぼんでしまい、今の状態がこれからも続きそうである。
一般小売店〔米穀〕（経営者）	・3か月後、想定するプラスとマイナスの原因がお互い引っ張り合い、プラスマイナスゼロだと考えている。
一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・7、8月はなかなか案件がない時期だが、今月は特に良く、案件に恵まれている。また、この後の9月、特に10月以降の消費税増税に伴うようなことで、客から商品の問い合わせなども受けているので、このまま良い調子が続くのではないかなということによって変わらない。
百貨店（売場主任）	・消費税が今後どうなるのか客は様子見しているようである。購買意欲はまだ変わらないという状況である。
百貨店（総務担当）	・個人所得が上がるとは思えないし、消費税増税も阻害要因になる。

百貨店（広報担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・参議院選挙が現政権圧勝に終わり、当面は政府による景気拡大策が継続すると思われる。また、衆参両院のねじれが解消され、来年4月の消費税増税も現実味を帯びてきた。このままいけば、顧客動向として消費税増税前の駆け込み需要も期待され、販売する側でも、そこを狙って各種販売促進策を仕掛けていくため、売上は現在の好調を維持する。
百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人服をはじめ衣料関連のバーゲン商品の動きが、天候不順とバーゲン会期の影響により低調である。アベノミクスの好影響は一部美術宝飾品にとどまっている。
百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・マクロでは景気が上昇しつつある感覚はあるものの、婦人服に関してはまだ反応が鈍い。今後も秋口にかけての大きな伸びは、商品構成からも価格からも慎重に考えている。
百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル関連については、セール期間の変更により好不調の波がみられるが、全般的には復調傾向にあると推察される。一方で食料品については、販売価格の値上げの影響も含め商品単価が上昇しており、売上の底上げにつながっている。デフレ脱却という旗振りの下、しばらくはこの傾向が続く。
百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業業績に左右される年末ボーナスの増減にもよるが、消費税増税前の駆け込み需要による耐久消費財購買が多くなれば景気は上向くが、10月までは不透明なので変化はない。
百貨店（販売促進担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・消費に慎重な動きは継続していく。
百貨店（営業企画担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・株価は堅調に推移しており、宝飾品など高額品の好調は持続すると思われるが、海外特選ブランドは値上げに伴い販売量が減少し、伸び率が鈍化している。衣料品は、残暑の状況など季節要因が大きいと、その影響を打ち消すだけの消費意欲の改善はまだ見られない。さらに秋に消費税増税の判断があると、直前の駆け込み需要以外は防衛的な消費傾向になると懸念している。当面は大きく悪化するとは思えないが、景気回復が個人の所得増につながらないと、本格的な回復にはつながらない。
百貨店（副店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・高額品は好調な一方、デイリー需要が思った以上に伸びていない。当店は高額品のシェアが少ないので、魅力的なデイリー需要の喚起を複合的にしないといけない。
百貨店（計画管理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・アベノミクスという言葉だけが独り歩きしている感が強く、一般大衆レベルまで好景気の恩恵を受けていない。セールの動きや客の買い方を鑑みるとこの先の消費が活発になるとは考えにくい。
スーパー（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・今月は曜日回りがあまり良くないので、前半はそうでもなかったが後半はやはり伸び悩んでいる。当社へはなかなかアベノミクスの効果は出てこないような感じで、2～3か月先も同じような状態が続くのではないかと感じている。
スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・3か月後の予測は良い形に持っていきたいが、今現在行っている対策が、なかなか集客に結び付いていないため、今と変わらないような見通しである。店としても集客に向けて安売りをしたり、様々なイベントをしているが、来客数が前年に追いついてくるような状況に至っていない。急に客が降って湧いてくるような状況にないので、変わらない。
スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・定番商品の販売量も以前と比べて持ち直してはいるものの、依然としてより安い物への趣向は変わらず、同じ様な状況がしばらく続く。
スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・政府の経済政策の効果が家計にはまだ反映されておらず、相変わらず低価格商品の割合が高い。景気が良くなる実感は、高額商品が動き出すことによると思われる。今後の消費税増税問題等、駆け込み需要は期待されるが、現状より良くなるというような感じではない。
スーパー（店員）	<ul style="list-style-type: none"> ・食料品についても、価値あるものに関しては高額でも買物をするが、まだ節約ムードから抜け切れていない。また、消費税増税を見越しての節約、儉約は更に加速する。
スーパー（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・アベノミクスによって景気が上向いているというが、まだ個人消費にはつながっていない。また、円安等でガソリン等が値上がりしている反面、個人消費につながる食品などの身の回りの品については逆に低価格志向になっている。もう一つは天候予見に左右されるが、大流行する、また、購買意欲を盛り立てるような話題、情報、そういった要件が見当たらないことから、このまま変わらずに前年を若干下回った推移を示すものと考えている。
スーパー（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・現政権の圧勝により景気対策が今後期待されるが、日本だけではなく世界的な情勢のなかで円安、株高傾向が続けばいいが、それが逆転されるようになってくると、日本の景気対策も鈍ってくるのではないかと。

スーパー（仕入担当）	・景況感が良くなっているような報道が増えているが、円安の影響による輸入品の価格上昇、消費税増税の問題は今後の大きな懸念材料である。
スーパー（仕入担当）	・各企業とも価格訴求は継続実施しており、数量が伸びても単価下落により金額が比例して伸びる状況ではなく、しばらくはまだ続くものと思われる。
コンビニ（経営者）	・夏で来客数及び単価が若干上がっていると思うので変わらない。
コンビニ（経営者）	・景気回復と言われているが、末端までくるにはまだ相当時間がかかるように思う。また、何となく内外共に不安要素が多いので、これからもあまり良くなるとは思わない。
コンビニ（経営者）	・環境の変化もなく、7月をみていると8月も同じように思える。
コンビニ（エリア担当）	・政権も安定し、株価も高値で推移していることもあり、プラスに転じているトレンドの維持が可能だとみている。
コンビニ（店長）	・近隣の人のためのコンビニであるには、例えばその食生活を支えとか、何か視点を変えていくことがこれからの進む方向と考えている。
コンビニ（商品開発担当）	・消費についてはまだ回復と言えるまでの兆しがみえず、依然として厳しい状況が続くと予想される。
衣料品専門店（経営者）	・収入のある人、ない人の差が大きくなり、アベノミクスの経済効果、消費のサイクルが末端まで届くようになるには、もうしばらく時間がかかるようで、今のところ景気の良い話はあまり聞こえてこない。
衣料品専門店（経営者）	・選挙では現政権が大勝したが、景気動向は変わらない、あるいは分からないというのが現状である。これから秋の商戦に向かうが、9、10月もまだまだ不透明である。しっかりと見極めていきたい。
衣料品専門店（経営者）	・今のところ景気回復は全く感じられず、客もこれからの政治に不安感がある様子であり、それが消費に影を落としている。
衣料品専門店（店長）	・民間企業の従業員収入が増えるにはまだ時間がかかると思うので、年末あたりからに期待をしたい。
家電量販店（店員）	・量販店は競合店との競争で、停滞状態は変わらない。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしており、整備は順調に売上が伸びているが、販売の方はあまり芳しくない。10月に消費税の決定があると思うが、それによって今後の売上が左右される。
乗用車販売店（営業担当）	・消費税増税のせいなのか客の動きが悪く感じる。
乗用車販売店（渉外担当）	・東日本大震災やタイの洪水等による新車受注残の新車需給バランスが正常に戻り、実績ベースでは前年比マイナス10%程度で推移するとみている。エコカー減税や新型車の投入で楽観視はしないが、これから2～3か月は現状と変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・自動車に関する税金など、減税や免税等がないと変化しないように感じる。
乗用車販売店（総務担当）	・好転の気配もなく、今後も競争激化でユーザーの取合いが予想される。
住関連専門店（統括）	・急激な来客数と販売量の増加は、なかなか見込めるものではなく、現在と同じような景気だと思う。
その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・食料品に対する消費者の意識が変わってきている気がする。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・年末に次世代ゲーム機の発売を控え、現在のゲーム機で最後となる大型タイトルがいくつも発売となるため、一時的な盛り上がりは期待できるが、厳しい状況に変わりはない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・現時点が少し前より良い状態になっている。景気が現在より更に良くなるには、実際の所得が増えないと難しい。
一般レストラン（経営者）	・アベノミクスは全く関係なく、段々悪くなるような感じである。
一般レストラン（経営者）	・消費税増税前の建築ラッシュもあり、大きな落ち込み要因を感じない。
一般レストラン（経営者）	・やっと下げ止まりの気配である。少し上向き加減かと思える数字も出てきているが、前年が悪過ぎたので前年を少し上回っても決して良い状態ではない。まだ大きく売上が伸びるとは感じない。
一般レストラン（経営者）	・客から景気が良くなったという実感はあまり聞かれない。現政権が安定して、大きな財政出動も期待できそうになく、あまり経済的な政策を打ってくる感じもないので、少し期待外れの感がある。
一般レストラン（スタッフ）	・全体的にみて良くなっているわけではない。ただし、業種によって動きそうな企業は割と使用してくれている。

都市型ホテル（スタッフ）	・消費税増税の話も不明確になってきているので、しばらく景気が低迷するのではないかと。
旅行代理店（従業員）	・予約件数は前年に追いついていないものの、秋口の見積り件数が日々増えてきているので今後の予約に期待ができる。
旅行代理店（従業員）	・進捗状況は前年比でほぼ変わらないが、天候要因で受注状況は少し悪いのである。
旅行代理店（従業員）	・平行線をたどるのではないかと。単価が上がる気配がない。
旅行代理店（支店長）	・参議院選挙の結果により、世間的には安定した雰囲気になると思うが、旅行への結び付きはすぐには出てこないため、良い条件にはならない。また、英国でロイヤルベビーが誕生し、一部の海外には影響すると思うが、全体ではどうなのかと思うので、あまり材料もなく、変わらない。
タクシー運転手	・来月に入れば多少は良くなる可能性もあるが、現在とあまり変わらない。やはり参議院選挙の後ということで、どの企業でもあまり良いという話は聞かない。
タクシー運転手	・参議院選挙も終わり、客も含めこれからの動向を探ろうとしているところである。
通信会社（経営者）	・テレビや携帯電話等、これといった目玉がなく、営業体制の強化でボリュームアップにつなげる意向である。
通信会社（営業担当）	・景気回復の効果を現場で体感するまでには、まだ相当な時間がかかる。
通信会社（営業担当）	・月額料金の安さだけでサービスを決めるユーザーと、自分が価値があると考えているサービスであれば月額料金が上がっても構わないユーザーに分かれている状況がここ数か月続いている。
通信会社（局長）	・為替による好景気、個人投資家の状況が大きく報道されているものの、全体を見渡せば景気回復の実感はまだ感じられない。悪化こそしていないものの、好況とを感じる国民はごくわずかであり、一喜一憂する民間人にとって、確実な底上げはほど遠い印象である。
通信会社（局長）	・年内はこの調子と思われる。4Kテレビも普及するにはまだ時間がかかる要素が多く、購買量の著しい増加が期待できる商材に乏しい。
ゴルフ場（従業員）	・悪くなるとは思わないが、長い年月の景気の低迷はそう簡単には良くなるのではない。中国製品があふれ、でも、日本の原点はものづくりであり、日本はどこに向かうべきか考えていきたい。
ゴルフ場（支配人）	・来客数は増えているように感じるが、単価の低下に歯止めがかからず、売上の増加は見込めない。
パチンコ店（経営者）	・パチンコをする場合、人気のある機械にいくらか左右される。それなりに機械はあるのだが、この先、大量導入するような機械は見当たらない。そういうことも含めてさほど変わらない。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (店長)	・来客数の急激な回復要因は見当たらない。また、客単価は上昇しているものの、減少する来客数に対して緩やかな上昇幅であり、取り戻しきれていない。
その他レジャー施設 (経営企画担当)	・来場者や催事予約も堅調に推移しており、販売単価も上がっているため現状の景気は良い。ただし、2、3か月先については現状から更に良くなる要因はあまり見当たらず、家計所得の増加も半年先くらいと見込んでいる。
その他サービス [学習塾] (経営者)	・生徒数の増加もみられず、横ばい状態である。今後3か月も景気が良くなるような兆候はみられない。
設計事務所（経営者）	・設計の受注に対して新しい考え方を持たなくてはならなくなった。今までは耐震診断、耐震補強という国の施策の中での設計が非常に忙しかった。しかし、公的なものの耐震補強及び診断は約80～90%終わった。これからは民間の中で仕事を見付けねばならず、顧客獲得やPRに重点を置いた営業施策を考えていくようになる。新しい社員を募集して、それに向かったの努力が必要だと思っている。
設計事務所（所長）	・仕事の絶対量が不足している。やはりかなりの業者が倒産ないし店じまいしているのが現状である。工場や事務所がどんどん建設されるような景気状況にならなければ、実際の景気は良くなると思うが、これから耐震補強工事など様々な改修工事が主体になると思うが、仕事量をもっと多くなることには景気は良くなると思う。
設計事務所（職員）	・東日本大震災以降の資材高騰、労務不足に基づく建設コスト上昇は続いている。オリンピック招致が決定すれば、関連案件以外の選択、選別が進みコストは更に上昇すると思われる。

	住宅販売会社（従業員）	・9月末までに契約済みの請負案件は完成、引渡しの際に関係なく消費税が現行のままとのことなので、9月までに請負契約を締結したいという客が多い。9月までは景気が良い状況が続く。
	住宅販売会社（従業員）	・戸建用地に関しては厳しい状況が続く。他の投資家向けのアパート販売がうまく進めば、良くなっていく。
	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・消費税増税前の駆け込み需要がしばらくは継続する。ただし、その先は急激に減少する可能性がある。
やや悪くなる	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・まだまだ暑さが続きそうなので、客足が鈍くなるのではないかと。また、5月の母の日以降、ギフト商品の売上があまり振るわず、お盆の需要も鈍くなりそうである。
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・夏も終わり、これといった買物の時期ではなくなるが、様々なキャンペーンが始まる。今は待っている商売ではとても厳しくなっているため、こちらから出向いていかないと進まない。夏と比べると良いとは思えない。
	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・一般消費者は、まだ買い控えの傾向にある。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・最近急須を使って緑茶を飲む人が少なくなっているが、会社需要のあった自動給茶機は休止による回収が増えてきて、茶葉や粉末の煎茶の売上減少に歯止めがかからず、低迷し続けている。
	百貨店（総務担当）	・一般消費者の経済的な好影響がみられない限り、相場の乱高下や来年度の消費税増税も含めて個人消費が高まっていくとは考えにくい。7月についても衣料品やギフトも前年を割った状態のため、今後も先行きが明るい状況はなかなか見えてこない。
	コンビニ（経営者）	・景気回復の実感がない。
	衣料品専門店（経営者）	・暑さが続くといった長期予報で数字が読みずらく、秋物の展開に不安が残る。夏物最終バーゲンの売上粗利も問題である。
	衣料品専門店（経営者）	・衣料品のほとんどが現在、中国、韓国、東南アジアからの輸入品だが、このところ徐々に値上がりしてきている。2千円で売れるものが2,500円ぐらいでの販売となり、リーズナブルな価格で販売できなくなってきている。値上がりがこのまま続くと消費者が離れ、販売が落ちないかと不安である。
	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・競合店が準備中のためである。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・客単価は上がっているが来客数が前年を下回っており、一部の人に動きが限定されている傾向は、消費増税増税等の購買マインドを押し下げる要因となりそうなので、悪化するのではないかと。
	都市型ホテル（経営者）	・今後も客単価の上昇はなかなか見込まれず、消費税増税などが宣伝されれば悪影響となり、ますます客が来なくなるという悪循環に陥る。この先3か月も非常に厳しい状況が続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・レストランの家族利用予約は、誕生日、還暦、喜寿等の記念日は比較的単価の高い店に入るが、平日の友人との会食や家族での単なる外食利用での比較的単価の低い店の予約は前年比2割ほど減少している。宴会の法人利用は予約は入ってきているが、前年比で2～3割人数が少ない。その分を婚礼の個人利用でカバーしている。宿泊は秋に周辺での大型のイベント開催が決定し、その予約は確定していないがかなりの数が見込める。また、その大型イベントを避けた他のイベントも開催が決まり、これから予約が入るものと期待している。
	都市型ホテル（スタッフ）	・例年夏季は販売量が落ち込む時期ではあるが、動きがかなり鈍く、先の予約状況が厳しくなっている。直近の動きもほとんどなく、景気が良くなっているという実感はない。先の景気も改善がみられないので悪い方へ向かう。
通信会社（営業担当）	・物価は上昇傾向だが、収入増につながるものがみえてこない。可能な限り支出を控える意識が広がりそうである。	
悪くなる	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	・今月は参議院選挙があり、選挙がある月は決まって売上が低迷するのだが、想定以上に悪かった。今後も明るい材料がないため、景気が更に悪化していく。
	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・夏期講習の生徒数が前年の2割減と非常に厳しい状況である。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・7月は来客数も販売量も減少の一途をたどっているなかで仏事の注文があり、売上は3か月前と比べても大きくは変わらない。
	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・昨年オープンした競合店の影響は当分続く。

		一般小売店〔靴・履物〕(店長)	・一般の給料は上がっておらず、諸物価はどんどん上がっている。消費税も増税するというような話になっており、消費マインドは段々下がってくると思うので、ますます景気は悪くなる。
		衣料品専門店(営業担当)	・政治が景気を良くしたという話であるが、末端ではその風すら感じられない。いまだかつてない出来事だが、商品を取り置きしていた客の中で、今月の給料が少なかったからキャンセルしたいという客が2名いた。こういう状況を客から感じることが多くなってきている。
企業動向関連	良くなる	その他サービス業〔警備〕(経営者)	・全体的に受注が増えているため、売上が期待できる。
(南関東)	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業(経営者)	・やや良くなっている雰囲気は感じるが、はっきりとした数字が伴っている状況ではない。
		金属製品製造業(経営者)	・自動車関連の仕事が多くなってきているとの材料関係者からの情報が入ってきているので、秋口には我々中小企業にも回ってくると期待したい。また、新しい研究開発の仕事を手掛けているので、これに力を入れたい。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・トラック業界も本当はそろそろ上向きにならないといけない。今月は前半、後半と少し動きがあり、忙しくなる兆しがみえてきているとは思いますが、8月には夏休みがあるので、9月の秋口から忙しくなることを期待している。
		その他製造業〔化粧品〕(営業担当)	・夏に入って売上が好調のためである。
		建設業(経営者)	・計画の案件は少しずつ出始めた感じがする。
		建設業(従業員)	・今後2か月も受注が確定しているものがあるので、やや良くなる。
		建設業(営業担当)	・参議院選挙も終わり、官庁関係の工事の発注が増えるとの声が聞こえている。また、民間設備投資では消費税が上がることを懸念し、顧客が前倒しの発注を検討しているため、受注が増え始めている。
		通信業(広報担当)	・アベノミクスの効果が徐々に浸透し、経営者のマインドが徐々に改善してくる。
		金融業(統括)	・参議院選挙で保守が勝ったので、もう少し景気刺激策が取れ、株価等にも反映される。
		金融業(支店長)	・参議院選挙の現政権圧勝により、国会のねじれが解消され、安定した政権運営が期待される。成長戦略により、物価上昇、景気浮揚につながる可能性がみえてきている。
		金融業(支店長)	・取引先の受注状況は若干良くなっている傾向なので、今後資金的にも安定して、利益も少し出てくるのではないかと。
		不動産業(総務担当)	・マンション販売の傾向として、価格が高くても角部屋など条件が良い住戸から売れていたが、ようやく最近になって、低価格帯の住戸にも申込が入り始めた。景気回復の実感が中堅層以下にも徐々に広がり始めていることがかい間見られるようになってきている。
		広告代理店(従業員)	・消費税増税前の駆け込み需要がありそうである。
		税理士	・アメリカの景気が少しずつ回復してきていることで、北米では自動車や電化製品等の日本製品が売れている。しかし、中国が少し失速している。その辺を差し引きすると一緒ぐらいである。いずれにしても海外で日本製品が売れている。それともう一つは、日本の政治がアベノミクス等で上向き傾向である。前政権下と比べて雲泥の差で良くなってきている。そのため、景気が引っ張られるところと実際に良くなっていくところがある。
		税理士	・輸出産業の好景気が日本全体を盛り上げてくれると思う。デフレからの脱却の道筋もみえてきている。
		経営コンサルタント	・ある駅前商店街で7月上旬に行なった朝市の人出をみて、秋に計画しているイベントでは、前年を上回る成果を期待して準備を行っているとのことである。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕(経営者)	・新規見積案件のなかで、3か月先くらいに2件成約の可能性があるので期待している。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	・状況としては良くなると思うが、秋以降だと思ふ。
		食料品製造業(経営者)	・参議院選挙が終わったが、これから先が良くなるという実感はわいていない。
		繊維工業(従業員)	・低価格品への関心は、よほど賃上げ等に大きな変化がない限りこのまま続くものと思われる。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・名刺も印鑑も今は必要な物しか受注がないという状況である。もう少し景気が良くなってくるとプレゼントとしての印鑑も出てくるが、まだ横ばいである。
		出版・印刷・同関連産業(総務担当)	・大手の業者が低価格の入札に参加しているのをみかける。仕事を選んではいられない状況の厳しさがうかがえる。

化学工業（従業員）	・販売数は少し良くなってはいるが、生産量を増やすほどではない。また、客先から景気判断の情報が全くないため、先行きのことはかなり不透明である。
プラスチック製品製造業（経営者）	・マンション販売が増加傾向にあり、アベノミクスがもう少し浸透すれば住宅関連部品の受注に期待が持てそうなので、化粧品容器と医療容器と併せて利益につなげたい。
金属製品製造業（経営者）	・国会では法案がスピード感を持って成立しやすい環境が整い、経済、成長戦略の実効性が出てくる。一方で消費税、原材料費、電力、燃料費など負の面もあり、当面は変わらない。
一般機械器具製造業（経営者）	・新規受注が全然なく、あってもロット数の小さい利益幅が薄いようなものばかりで、ロットが大きいものは海外に持って行かれてしまったという状態が続いている。円安になると円高だろうと関係ない状態になってきており、困っている。
電気機械器具製造業（経営者）	・新商品を出して頑張ってはいるが、いくら品質の良い物を発売しても結局は価格勝負となり、品質の良さは無視される。現在、安物の商品の試作に追われている。技術屋としての心が痛む。
電気機械器具製造業（経営者）	・大手企業については比較的良好な展開になっている。中小零細企業に対しての影響は今のところ、ほとんど出ていない。待ちの姿勢で秋に期待をかけている。
精密機械器具製造業（経営者）	・本格的な回復は来年になるような雰囲気である。大きな案件が非常に多くあるが、立ち上げは来年になる。
その他製造業〔鞆〕（経営者）	・状況としては、大きく良くも悪くもならないという様子なので、当分このまま続く。
建設業（経理担当）	・以前から持ち込まれている案件はいくつかあるが、新たな事業の相談はまだまだ少ない。
輸送業（経営者）	・景気は一向に上向いていない。3か月後といっても、それは大変な予想であり、実体経済は非常に低迷していると判断する。
通信業（経営者）	・まだ具体的な気配がない。
金融業（従業員）	・不動産業や建設業では回復の気配も感じられるが、中小企業全体の業況はまだ厳しい。燃料価格や原材料価格の上昇による収益環境の悪化も懸念されており、楽観的な見方は少ない。
金融業（役員）	・値上げと消費税増税という二つの向かい風が予想されることから、しばらくは様子見の状況が続くであろう。長期的な戦略が立てづらい環境であり、景気が今よりも良くなるとは思えない。
不動産業（経営者）	・新築物件が完成から数か月苦戦中である。中古物件は1年以上の空きが相当数ある。
広告代理店（従業員）	・新規受注等の計画はなく、例年ある既存の受注は予定どおりである。
広告代理店（営業担当）	・ほぼ確定となっている消費税増税の政策が、来期の各クライアントの事業計画にどう響くか分からない。
社会保険労務士	・良くなるという要素が見当たらない。
その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・受注量を確保するために、受注価格の値下げを断行せざるを得ない状況が続く。
その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・ある分野では業績が明るい方向に向かっているが、一方で大変暗いという分野があるように、やはり全体的に良くなるか、悪くなるかという方向性はまだみえていない。ただし、明るい方向性も幅は大変小さい。
その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・落ち始めた需要が回復する要素があまり見当たらず、今後も状況が好転するとは考えにくい。
やや悪くなる	
出版・印刷・同関連産業（所長）	・資材の値上げが徐々に効いてくる。9月ごろの2段階値上げの話も出てきているので、後半に向けては厳しい状況になると推測している。
プラスチック製品製造業（経営者）	・株安、円高が更に進むと思うので、景気は悪くなる。
金属製品製造業（経営者）	・現在の受注量増の原因が、消費税増税対策であったりすることから、受注の前倒し感を感じる。
輸送業（経営者）	・例年9、10月は稼働日の減少等により売上が落ちる傾向にある。上昇が止まらない燃料価格の負担増により、経営は更に圧迫されるものと思われる。
広告代理店（経営者）	・相変わらず景気回復の実感などなく、現政権が大勝した今、今後も金融的な景気政策が進むだろうが、将来不安と人材劣化の一方での賃金の高さ、世界の需要との質的ギャップを停滞要因と考えているので、政府が何かしても何も変わらない。

		経営コンサルタント	・例年夏休みがあるため8月の製造業は売上が下がる。今年 は、それ以上に受注の減少傾向が響いてきそうである。
		その他サービス業〔ソ フト開発〕（経営者）	・中国の景気減速のためである。
	悪くなる	建設業（経営者）	・政策が実行されていない。
		建設業（経営者）	・消費税増税が導入がされたら駄目だと思う。
		輸送業（経営者）	・仲間に仕事の依頼をしても、先方からも頼もうと思っ ていたと言われる状態で、今本当に仕事が無くなっているとい うのが我々零細企業の運送屋である。燃料は上がる一方であ り、仕事はなくなる一方なので大変苦しんでいる。
		輸送業（総務担当）	・国内集荷量が低迷しているなか、輸出で何とか売上確保を 見込んでいたが、国際入札や国際契約の遅れで予定していた 輸出が延期となり、実施日時は不明ということで、国内外の 出荷は今後大幅に落ち込む見通しである。
雇用 関連	良くなる	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・お盆明けから9、10月にかけての大々的な募集の予約がす でに20件あまり入っており、それが全部稼働すれば相当な数 量が出てくるので期待している。
(南関東)	やや良くなる	人材派遣会社（営業担 当）	・雇用が増えることにより、良くなると想定している。
		人材派遣会社（支店 長）	・ねじれ国会が解消され、成長戦略の政策も、よりスピー ディーに決定されることに期待が持てる。
		求人情報誌製作会社 （編集者）	・採用手法が多様化するにつれ、予算が少し膨らむのではな いだろうか。
		求人情報誌製作会社 （営業担当）	・継続的な求人掲載が増えてきている。
		求人情報誌製作会社 （営業担当）	・求人が徐々に増えてきているので、多少良くなってくる。
		民間職業紹介機関（職 員）	・我々のビジネスと連動性の高いCI値、運行指数も上昇し てきており、少なくとも下がる要素が現在は見当たらず、一 致と先行指数に引っ張られて上がっていく可能性が高い。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・製造業の経営者と話をしたが、参議院選挙で現政権の圧勝 により中国、韓国との関係がどうなるのか、しばらく見極め ないと中国生産等の方針もはっきりしないという人も多い。
		人材派遣会社（社員）	・受注量は引き続き増加傾向が続くと思うが、直接雇用の求 人で仕事を決める求職者が多く、派遣社員の採用は厳しい状 況が続く。
		人材派遣会社（社員）	・現在の人材ニーズの好調感は継続する。
		人材派遣会社（支店 長）	・雇用面で今以上に良くなると思われる材料が見当たらな い。
		人材派遣会社（営業担 当）	・政局の安定により好景気への期待は持てるが、まだ雇用拡 大には時間がかかりそうである。
		求人情報誌製作会社 （営業担当）	・9月以降の景気回復に期待したいところだが、春先に比べ て求人数や職種に関してバラエティーに乏しい。
		職業安定所（職員）	・産業界の動向がつかめない。
		職業安定所（職員）	・雇用のミスマッチがあるためである。
		職業安定所（職員）	・アベノミクスにより賃金が上昇するまでには、まだ時間か かかる。
		職業安定所（職員）	・企業は労働力の不足を正社員ではなく、契約、パート労働 者の採用を増やすことで対応している。雇用失業情勢の改善 には正社員求人の増加が必要である。
		職業安定所（職員）	・求人数は増加しているが、労働条件の改善はあまりみられ ない。応募者がいない状況でも求人側からのアクションがみ られず、様子見の感がある。また、求職者においても在職中 の人が目立つようになってきているが、応募に積極的ではな く、情報収集を主としている。
		民間職業紹介機関（経 営者）	・バックオフィス系の求人は頭打ちである。
		民間職業紹介機関（経 営者）	・人材の採用にはどの企業も慎重で、国内外の景気動向を広 範囲にみているようである。
		民間職業紹介機関（職 員）	・企業の事業計画から、底堅い人材需要を感じる。
		学校〔専修学校〕（就 職担当）	・今後数か月先の新規採用、募集人数増加等の相談、依頼件 数の伸びはない。年度当初の採用計画にて進めている企業が 多数である。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担 当）	・求人数は微増、派遣費用は削減傾向にあり、各企業は人件 費を抑えてより良い人材の確保をする動きとなっている。そ のため、求人と求職者との間にギャップが生じており、今 後、新規就労者数は現状より悪くなる可能性が考えられる。
		求人情報誌製作会社 （広報担当）	・サービスの価格自体が下がり、1案件当たりの利益が少な くなってきている。
	悪くなる	—	—